



RI会長
K.R. "ラビ" ラビンドラン

世界へのプレゼントになろう

静岡東ロータリークラブ

会長/杉山明喜雄 幹事/新聞桂子

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
杉山明喜雄

第 2750 回例会

平成 28 年 1 月 28 日 天候 晴

- 《司 会》 新聞 佳子 君
- 《合 唱》 「手に手つないで」「静岡東ロータリー」
- 《BGM》 LEONARD BERMSTEIN SELECTIONS FROM
"WEST SIDE STORY" AND MORE
- 《ゲスト》 株式会社クレアファーム
代表取締役社長 西村やす子様
- 《ピジター》 なし

《本日のお祝い》

お誕生日

1月30日 大村幸代 君
1月31日 稲盛照男 君
2月 1日 伊藤洋一郎 君

結婚記念日

該当者なし

《会長代行挨拶要旨》

「健康経営」



佐橋 徹 会長代行

最近、産業医関連の本を読んでいましたら「健康経営」の特集が組まれていました。経営に携わっている方が多い会員の方々には常識とされる考え方であろうとは思いますが今日

の話題は、は敢えて「健康経営」としました。

米国から始まったこの考え方は、日本では6~7年前からその取り組みが大企業から始まっています。

ある米国の企業が健康関連のコストを検討してみると、入院費や薬剤費などの直接医療費は全体の約20~25%で、欠勤するほどではないが、腰痛、肩こりやメンタルの悩み、不眠、慢性頭痛などで通院をしていたり、市販薬やサプリメントを購入したりする費用が60~70%を占めていることがわかりました。当然のこと

ながら、このような状態の従業員の仕事のクオリティは低下していて25~35%の低下と評価されました。これらを改善、縮小して、業績の向上を目指すことが必要であろうという考え方です。

もちろん日本と米国とでは医療環境が大分異なります。日本では国民皆保険制度によって医療費の一部負担で医療を受けることができます。また健康保険組合に、事業主は企業の利益とは直接関係のない出資をしています。さらに法律によって従業員の健康管理や安全配慮の義務が定められていますので、医療費のほとんどを個人で負担する米国とは異なりますが、先ほど取り上げました「少し具合の良くない人」をケアして仕事のクオリティを上げる工夫は確かに必要なことと思われま

す。「健康経営」と企業の生産性や業績の向上との関連性を示すデータには、健康経営優良企業に1万ドル投資した場合と、S&P500社平均に1万ドルを投資した場合の12年後の投資成果を比べると、S&P500平均は9,900ドルであったのに対して健康経営優良企業の投資成果は17,800ドルに達したとのこと。つまり健康経営優良企業は、米国の大企業の平均を上回る業績を挙げていることを示しています。

急速に少子高齢化が進み、労働力の不足が必至の日本にとって、また巨額の医療費の増大、健康保険組合赤字に苦しむ時にこの考え方は重要で、通産省は東京証券取引所と共同で業種ごとの健康経営優良企業を選定して公表しています。日本政策投資銀行では「環境格付け」「BCM格付け」のほかに「健康経営格付け」を利用して、融資金利を優遇する制度が生まれています。

特集記事の中で健康経営優良企業の担当重役は「以前は、人材は資源と考えて十分に活用し、活躍してもらいたいと考えていましたが、最近では人材は資産であって、人的資産に投資することの重要性に目覚めた。」とコメントしていました。

将来確実に老人大国に進む日本にとっても、定年後も健康な老人を作る基礎的な役割としての「健康経営」は検討に値する考え方かと思いましたがいかがでしょうか？

別紙報告書をご参照ください。

《来賓卓話》

(株)クレアファーム代表取締役社長 西村やす子様
「共創と協働による地域活性
～オリーブオイル産地化プロジェクト～」

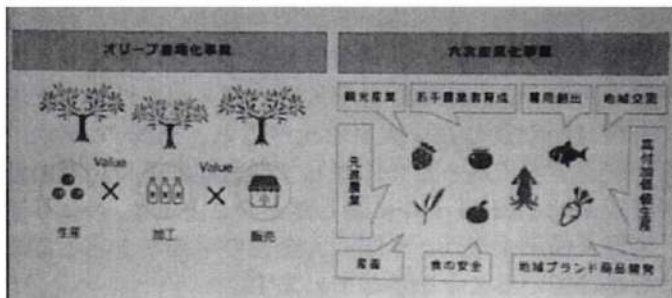


1年程前にクレアテーブル代表としてオリーブオイルのお話しをさせて頂きました。その際に私どもはオイルを販売する会社ではなくオリーブの栽培加工販売までの6次産業化

を5年以内に結果を出しますとお話しさせて頂きましたが、1期目にて6次産業化を達成いたしました。昨年4月に市内3ヶ所に600本を植え100kgを収穫、10%搾り静岡発搾りオイルとしてクレアテーブルで販売即完売しました。

ご紹介するプロジェクトは地域農業を活性化し、若い人たちを呼び込み、新しい農業インフラを作ること为目标としており、入口として既存の農業インフラを使わずに誰でも始められ、出口でもしっかりした商品価値を発信し、高い付加価値を理解してくれる市場で高く買ってもらうことで、農業経営をやっていくというものです。農業者と長い時間をかけて信頼関係を作っ

てはじめたプロジェクトです。クレアファームは昨年、地元有力企業の出資を受け法人化しました。事業はオリーブ産地化事業と六次産業化事業の2つです。



静岡県を新しいオリーブの産地にしようと思っています。オリーブは輸入が98%です。産地といわれる小豆島でも規模化している農家はなく、多くは欧州からの輸入の実を搾っています。静岡の気候と土壌にあった品種を選び、農化学データに基づいた農法で栽培することを計画し2年前から始めました。

また6次産業とよく言われますが、上手くいっていると少くない。地産地消しているうちは強くなれません。商品価値がわかる市場に情報発信し、送り出す必要があります、その支援を実施していくものが6次産業化支援です。

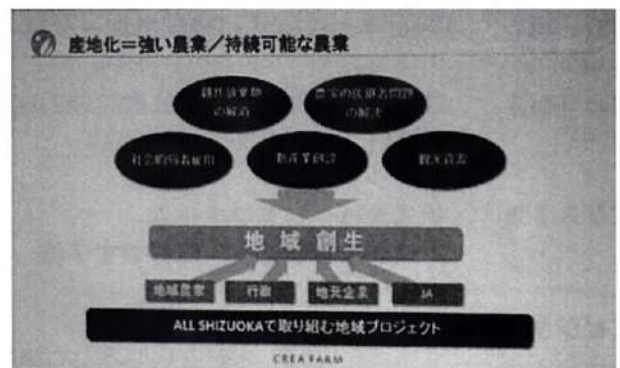
農家が良いものを作ってもなかなか認知してもらえない状況があり、情報を発信し地域ブランドを一緒に作っていく一次産業のパートナーが必要です。地域経済界とタッグを組んで、地域ブランディングをやって



いくように持っていきたいと思っています。

静岡県を新たなオリーブの産地にするため、県内に交通アクセスの良いところのオリーブ農園は観光資源になり、農家さんに協力してもらい耕作放棄地で委託生産農場を作っていくことを考えています。

農家さんに協力して頂くために、できた製品をしっかりと販売していくということを明確にするために出口戦略からスタート、2014年6月にお店を最初に作り



地域を元気にしていくためには、自分たちで知恵を出して考えてく必要があります、「勇気出して、リスクを取って、動き出した」ベンチャーは、地域で応援をしていく仕組みが必要であると思っています。

《スマイル報告》

稲森 照男 君 誕生日祝いのスマイルをします。

伊藤 洋一郎君 誕生日のお祝いありがとうございます。いくつになったのか、わすれました。

山下 勝央 君 (株)クレアファーム社長西村やす子さんの卓話に感謝してスマイルします。このプロジェクトが静岡地域活性のきっかけになると信じています!!

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
1/28	51(48)	40	8	-	-	-
1/21	51(47)	36	11	-	-	-
1/14	51(48)	41	7	4	3	93.75%